



「2020年に実施されるセンター試験を最後に、センター試験はなくなり、新しい入試制度がスタートをする」という報道をご覧になった方も多いかと思えます。マスコミでは、とかく「大学入学者選抜の改革」だけがクローズアップされており、実は文部科学省の推し進める「高大接続改革」は「高校教育」「大学教育」「大学入学者選抜」の3つの要素で成り立っています。ではなぜこの改革が必要なのでしょう？

現代社会の変化の度合いはほとんど早まっています。例えば携帯電話やインターネットが急速に普及してきたのは2000年ほどの話ですが、これによって社会は大きく変わりました。その間に無くなってきた職業や、新たに登場した職業が少なからずあります。

さらに日本は急速に少子高齢化が進んでおり、生産年齢人口も急減しているため、産業構造や就業構造の転換が必要となってきました。そして国際的にもグローバル化が進んできていることもあり、日本の子どもたちは、このような混沌とした状況のなかで世界を相手に「生きる力」すなわち、自分で問題を発見し、さらに他の人たちと協力して解決していくための資質・能力を付けることが必要となってきました。

この「生きる力」を付けることが、文部科学省の推し進めようとしている「高大接続改革」の目的です。

当然のことながら、現在の中3生が2021年に受験をする大学入学者選抜から受験制度が変わるわけですが、実際にはもう既に現在実施されている入試においても、改革を意識した内容の問題が出題されており、特に中3以下の生徒さんに関しては、この高大接続改革全体の内容と趣旨を踏まえつつ、学習していく必要があります。

英智 学習通信

2020年 高大接続改革！(その1)

改革の背景と目的およびその必要性

2017年5月
編集:英智学館 教務情報課
電話 0120(710)981
HP <http://eichikan.co.jp/>

漢検

漢検・数検の申込受付中。

ただいま7月検定のお申込みを受付しています。締切は、漢検が5月29日、数検が5月22日です。お申込みは各教室まで。なお家族検定制度もあり、お子さんと一緒に検定に挑戦できるので、奮ってご参加下さい。受験に関する詳しい情報については、受検案内をご覧下さい。最後に、検定に挑戦したいご兄弟やお友達も受け入れられます。みんなで一緒に目標目指して頑張りましょう！

■中学学習ポイント(第1回)

新年度が始まり一ヶ月が経ちました。今回は、英語で中学三年生の最初に学習する「現在完了」について、学習のポイントを解説します。

現在完了(have[has]+過去分詞)は、日本語にはない時制です。形はそれほど複雑ではありませんが、用法は「完了」「経験」「継続」と、大きく分けると三つあります。そのため、見分け方が分からず、苦手意識を持ってしまいう人が多岐にわたります。

現在完了の三つの用法を見分けるためには、文脈ももちろん大切ですが、より重要なのが「一緒に使われる語句です。それぞれの用法で、よく一緒に使われる語句は限られています。(左図参照)

これらの語句を正しく覚えておくことで、用法が見分けやすくなります。用法が正しく判断できれば、穴埋め問題や英文和訳など、対応できる問題の量が増えます。

多くの例文にあたるのが、定着への近道です。現在完了を使いこなして、英語の表現の幅をどんどん広げていきましょう。

現在完了(have[has]+過去分詞) -3つの用法とよく使われる語句-

【完了】「～したところだ」「～してしまった」

already(すでに), just(ちょうど)
yet[否定文で](まだ), yet[疑問文で](もう)

【継続】「ずっと～している」「ずっと～だ」

for(～の間), since(～以来、～から)
How long(どのくらいの期間、いつから)

【経験】「(今までに)～したことがある」

never(一度も～ない), ever[疑問文で](今までに)
before(以前に), once(一度), ~times(～度)

■新学期からはじめる『新聞意味調べ』のススメ(其の1)

年度初めからの積み重ねは、後半の追い込みをするときに大きく差をつけます。そこで、一つおススメしたい勉強があります。「新聞の言葉でわからないことを調べる」勉強法です。いろんな教科にも後々影響する勉強ですので、比較的余裕のある時期からはじめるのがオススメです。

やり方は以下の通り。

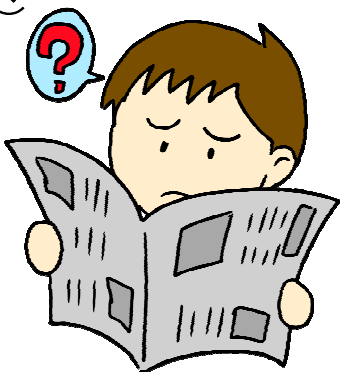
- ①新聞コラムを切り取りノートに貼る。
- ②マーカーを持って、内容を読む。わからない言葉や曖昧に覚えている言葉にマーカーを引く。
- ③マーカーを引いた部分をノートに箇条書きし、一つ一つ意味調べをして、ノートに書く。
- ④意味調べ終了後、再度記事を読み直し、文章内容を捉える。

①④を週3日以上繰り返し返すと、「文章をそのままの意味で捉え読む力」を身につけられます。

実際、国語・現代文テストの読解の際に、「客観的に自分の感情を入れないで、そのまま文章を読む」事がものすごく大事になります。

この勉強によって、その力をしっかりとつけられますし、また新聞内容で世の中の情報・情勢をつかむ事も出来ます。他の教科に関しても、この「読解力」が確実に物を言うようになります。

積み重ねることで安定してつけられる力なので、できる限り「早い時期から」「コツコツ積み重ね」を意識してはじめてもらえればと思います。(6月号につづく)



今月の格言・金言 「小人閑居して不善を為す」～中国古典より引用～

中国の故事成語です。「小人」とは、今で言う「普通の人」の事で、小人が「閑居(二部屋にこもる)」していると、良からぬ事ばかり考えてしまう、、、という意味です。実際に家にこもってしまう事も、心の中で閑居こもってしまう事も、全部ひっくるめて、まずは「動く事が大事」と言っていると解釈できます。失敗しても良いので、とにかく動いて、沢山の事を吸収し、「マイナスの考え」が出て来ぬようになりたいものです。